

子ども議会を通して感じたこと



子ども議会を体験して



脇田 琉々さん
(日野小)

私は子ども議会に参加して、「子どもたちが安心して過ごせる遊び場」という題で提案しました。

学校でたくさん練習を行い、私は深呼吸して、やるぞ！という気持ちでいました。会場につくとテレビや新聞で見た事のある景色で、より緊張が高まりました。演説席にて読む練習をして、まだ練

習だと分かっていたのに声や手がふるえてしまい、自分でもおどろくほどに手が冷たくなっていました。その後、観客席に行き、上からの景色を見ました。そこには新聞社席があり、議会が話し合うことを広く伝えようとしていることを知りました。私の質問が終わった後、市長さんは、みんなが安全で安心して過ごせる公園を、皆さんの意見を聞きながら計画を進めているとおっしゃっていました。これからお金のかかることもあるけれど、私達や未来の子ども達が住みよく健康で過ごせるまちづくりができるよう、私達も関心を持っていきたいと思います。

子ども議会に参加して



山口 航也さん
(豊井小)

ぼくは、初めて中野市議会の会場に入り、子ども議会に参加しました。豊井小学校、永田小学校、延徳小学校、日野小学校の人たちが議場に集まりました。まず、グループ1とグループ2の人たちが議場に入りました。ぼくは、グループ1だったので、最初にイスに座りました。市長さんや教育長さん

もいました。イスに座ると緊張しました。質問者は、述べ方を工夫していて、とても分かりやすかったです。議会を通して、ぼくが一番心に残った意見は、日野小学校の「子どもが安心して過ごせる遊び場を」という意見です。この意見がすばらしいと思ったのは、遊べる公園が少ないというところを取り上げて、それに対して中野市では公園についてどう考えているかを知りたいという気持ちが伝わってきたからです。子ども議会は、とてもいい経験になりました。子ども議会に参加したことで、将来の中野市のことをもっと考えるようになりました。

責任を感じた子ども議会



樋口 静香さん
(延徳小)

私は、子ども議会で発表者になると考え、一番最初にまずとても責任を感じました。「クラスのみんなと考えた意見を代表で発表をする」「市長さんに言ったりいろんな記者の方々が来る」と考えると、責任感、またそれと同時に緊張感を持ちました。

私のグループは「中野市に観光スポットを」についてです。本当は同じグループの友だちが発表者になっていたのですが、欠席のため、代わりに私が代表者となりました。堂々としていくかは心配だったけれど、「うまくいくか」ではなく、「しっかりとみんなで作った意見を伝えられるか」と思いました。そう思った時、少し勇気がわきました。控え室で、発言する時に言うこと、演壇への登り方を確認しました。自分の言う番になり、演壇で堂々と発表できたのでホッとしました。

中野市をより住みやすい中野市に



山崎 琴未さん
(永田小)

11月19日に、市内の4小学校の6年生と子ども議会に参加しました。最初は傍聴席からの見学でしたが、議員席に座っている人がみんな緊張した感じだったので、見ている方も緊張してしまいました。次は議員席に座りました。イス

がフカフカで気持ち良かったです。次からは、控室でプロジェクトを通しての見学でした。応答の時には、市長さんや教育長さんが分かりやすく話してくださり、質問が出た地域のことをよく調べて、数字で教えてくださったりしたので、よく分かりました。私が今回、特に印象に残ったのは、一回目の議長さんです。発言する人や市長さん、教育長さんが話される時に、いつもうなずいていて良く聴いているんだなと思いました。また、出番があった6年生はみんなハキハキ発言していてすごいなあと思いました。

1月の合併10周年記念事業を紹介します。大勢の皆さんのお越しをお待ちしています。

check!!

001

1/30(土)

第52回中山晋平記念音楽賞優秀賞入選曲発表会

問 文化スポーツ振興課文化振興係 ☎ (22) 2111 (内線394)

本年度の優秀賞に輝いた楽曲を発表する「中山晋平記念音楽賞優秀賞入選曲発表会」を開催します。応募総数244曲の中から優秀賞に選ばれた8曲を市内の小学生および音楽団体が合唱するほか、音楽賞の審査員でありピアニストの寺嶋陸也さんをお招きし、記念公演を行います。また、市音楽親善アンバサダーの麻衣さんも出演します。



▲昨年度の様子

期 日 1月30日(土) 時 間 開演：午後0時30分（開場：正午）
 会 場 市民会館ホール 入 場 料 無 料
 内 容 入選曲受賞者の表彰、優秀賞入選曲の発表、記念公演



寺嶋陸也プロフィール

1964年生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。オペラシアターこんにゃく座での演奏や、97年東京都現代美術館でのポンピドー・コレクション展開催記念サティ連続コンサート「伝統の変装」、03年パリ日本文化会館における作品個展「東洋・西洋の音楽の交流」などは高く評価され、06年にはタングルウッド音楽祭に招かれボストン交響楽団のメンバーと自作を含む室内楽を演奏した。作曲、ピアノ演奏のほか、東京室内歌劇場やびわ湖ホールのおペラ公演の指揮など、活動は多方面にわたる。オペラ『ガリレイの生涯』『末摘花』、カンタータ『伊邪那岐・伊邪那美』、合唱のための『詩篇第49番』『沖繩のスケッチ』など作品多数。国内はもとよりイタリア、イギリス、フランス、オランダ、スペイン、アメリカ合衆国などでも演奏されている。作曲のほかにもピアニストとしてリサイタルなどの独奏をするほか、内外の著名な演奏家と数多く共演し、指揮やコンサートの企画など、活動は多方面にわたる。



作曲講習会を開催します

問・申 文化スポーツ振興課文化振興係
 ☎ (22) 2111 (内線394)

市と中野市音楽団体連盟では、創作（作曲）の講習会を開催します。講師には、作曲家の唐沢史比古さんをお招き、曲づくりのコツを指導していただきます。作曲の経験の有無は問いません。音楽に興味のある方、音を楽しみたい方にお勧めです。大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。

期 日 2月14日(日) 講 師 唐沢史比古さん
 時 間 午前10時30分～午後2時30分 持ち物 昼食、飲料、筆記用具、鍵盤ハーモニカ（お持ちの方）
 （受付開始：午前10時から）
 会 場 勤労青少年ホーム 主 催 中野市・中野市音楽団体連盟
 参加料 無料（定員30人） 申込期限 2月12日(金)（定員になり次第募集締め切り）



唐沢史比古プロフィール

作曲家・指揮者・音楽教育指導者。東京音楽大学を卒業し、長期にわたり音楽教師として「音楽育」を行う。長野冬季オリンピック国歌制作担当者として、小澤征爾氏（新日本フィル）による国歌CD製作や、各国国歌の編集とオーケストラ・コーラスアレンジ、CD出版、音楽イベント企画などを行う。福祉大学校教授として保育士のための音楽教育をすすめる。現在豊南短大講師。

〈主な作品〉合唱組曲『ともしびは』『御柱の情景』『山よ河よ天よ』『杜と子どもたち』『奇跡の星地球』ほか